



2017.11
No.93

きくよう

題字：武蔵ヶ丘小学校6年 安田 粋さん



菊陽町議会フェイスブック
携帯電話で左記の2次元コード
を読み取るとアクセスできます。

主な内容

平成28年度決算の分析……………	P 2～3	一般質問（7人）……………	P 9～12
9月議会及び臨時会提出議案及び 賛否一覧表……………	P 4～5	研修の報告……………	P 13～14
3常任委員会の報告……………	P 6～8	マイタウン（3行事の記録）……………	P 15

=町財政の分析=

町財政は健全状態 国財政の動きなどに注意を

平成28年度の決算は9月定例会において、賛成多数で認定されました。

以下、菊陽町監査委員（中原輝男氏・吉山哲也氏）による審査意見書に基づきながら、菊陽町の財政の状況や課題についてまとめてみました。

一般会計の決算は以下のとおりです。各年度黒字決算となっています。

特別会計（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・土地取得）も黒字決算です。

第3セクターの経営状況などを含めた健全化判断比率にも問題はありませんでした。

一般会計各年度別決算の推移

（千円未満は四捨五入）

年度 区分	平成 24	25	26	27	28
歳入	157億5662万6千円	161億9465万8千円	155億7158万5千円	142億8738万2千円	161億4058万6千円
歳出	148億5523万3千円	153億2000万円	147億5862万8千円	134億9959万5千円	150億66万3千円
差引残額	9億139万3千円	8億7465万8千円	8億1295万8千円	7億8778万7千円	11億3992万4千円
翌年度繰越財源	3億1925万6千円	1億2296万2千円	1億1737万円	1億6823万7千円	5億940万3千円
実質収支額	5億8213万7千円	7億5169万6千円	6億9558万8千円	6億1955万円	6億3052万1千円

町の財政状況が健全であるかどうかについては次のような判断基準があります。説明を読んで表をご覧ください。（末尾には基準値を表示しています。）

- ① 財政力指数＝1に近いほど財政力があります。
- ② 経常収支比率＝率（％）が低ければ低いほど財政の弾力性（事業を起こす余裕）は大きく、財政構造が優れているとされています。
- ③ 公債費負担比率＝借金返済額が一般財源総額に対してどんな割合（％）になっているかを示す指標。財政構造の弾力性を判断する指標です。
15%以上は黄信号、20%以上は赤信号と言われます。
- ④ 標準財政規模＝一般財源（税収・交付金収入・臨時財政対策債など）の規模を表します。

各指標の年度別推移と基準値

指標	H24	25	26	27	28	基準値
財政力指数	0.91	0.93	0.93	0.92	0.92	0.92
経常収支比率	92.9	84.7	81.7	83.1	85.4	83.4
公債費負担比率	16.2	12.6	13.1	16.1	12.5	14.8
標準財政規模	81億1636万4千円	82億201万7千円	81億6007万6千円	82億5899万2千円	83億8090万3千円	81億4104万9千円

◆解説

- どの数字も菊陽町の財政が健全状態にあることを示しています。
- 収入の中にある臨時財政対策債は、国の財源不足を町が立て替え払いしているもので財源が保証されたものではないので、今後取扱いに注意を要します。
- 災害復旧に対する多額の支出がなお想定されます。また菊池環境保全組合の新工場建設の負担金も発生してきます。総合的な財政運営の視点が必要です。

表1 平成28年度歳入の構成

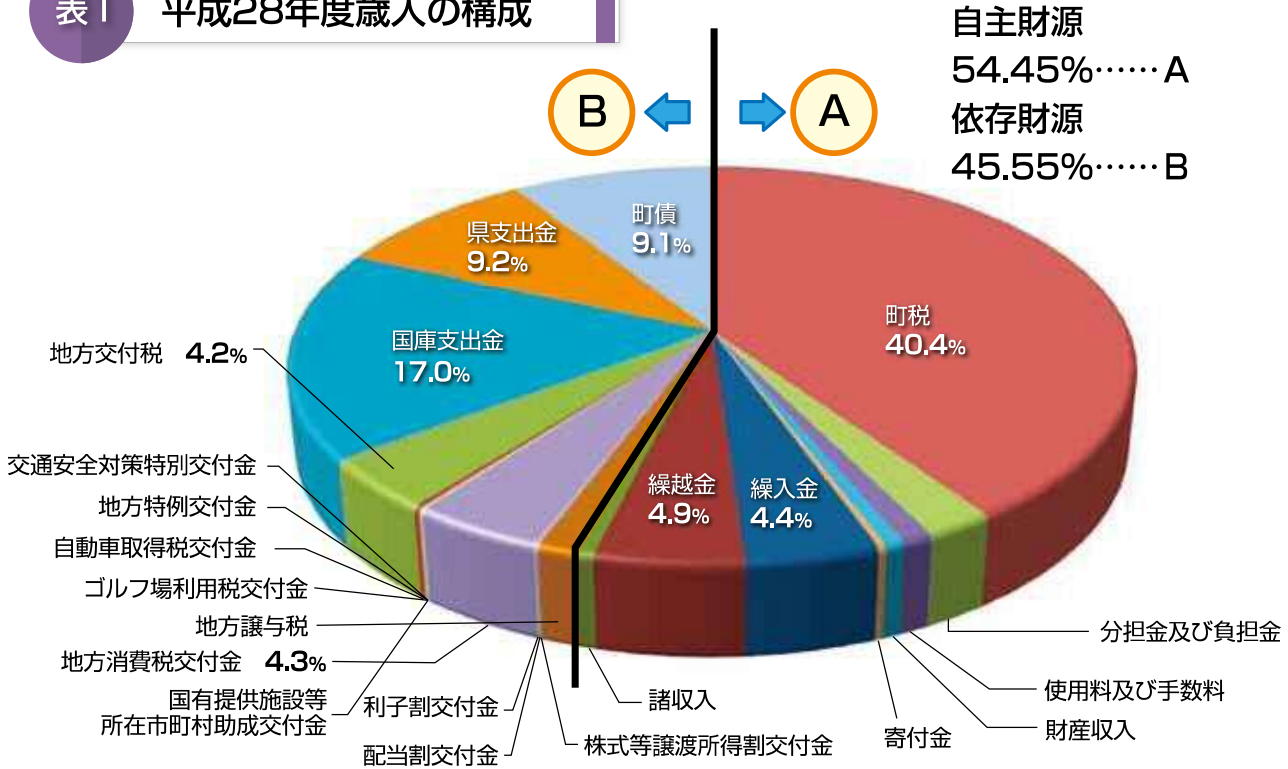
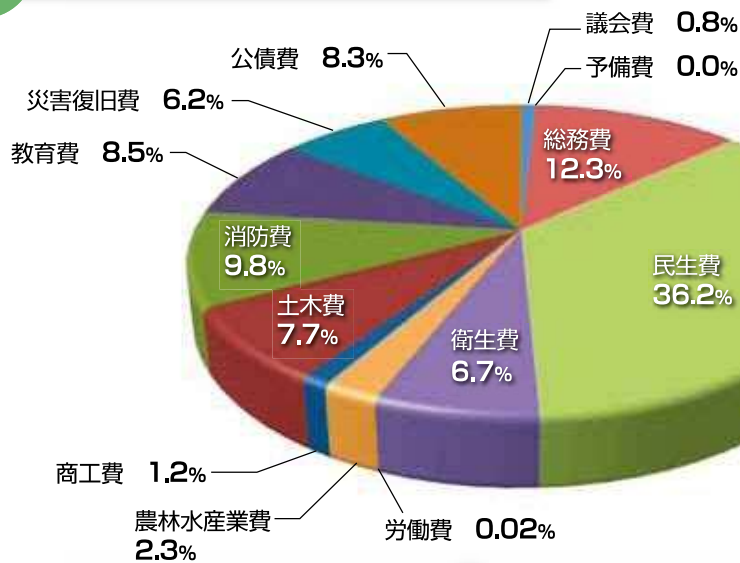


表2 平成28年度歳出の状況



自主財源・依存財源
平成27年度の平均値

	全国	熊本県
自主財源	46.9	32.3
依存財源	53.1	67.7

表2について

☆平成28年度の支出済額は150億66万3千円でした。

☆以下の部門で支出額の75.07%を占めています。

- 民生費＝障害者福祉・保育所・児童手当・国民健康保険・介護保険等
- 総務費＝総合スポーツ整備基金積立金等
- 消防費＝緊急災害対策事業等
- 教育費＝菊陽北小学校増築事業等
- 公債費＝借金返済費

表1に示すように、わが町の財政は依存財源（国や県などに依存する財源）に比べて、自主財源（自力で調達できる財源）の比率が高く、自立性が高いと言えます。

臨時会

平成29年8月2日に平成29年第2回臨時議会が開催された。

議案第22号
工事請負の締結について
(武蔵ヶ丘北小学校校舎増築工事(建築))

全員賛成で可決

平成29年8月24日に平成29年第3回臨時議会が開催された。案件は、議案3件、同意1件。

議案第23号
工事請負契約の締結について(菊陽中部小学校放課後児童クラブ建設工事(建築))

全員賛成で可決

議案第24号
工事請負契約の締結について(菊陽西小学校放課後児童クラブ建設工事(建築))

全員賛成で可決

議案第25号
工事請負契約の締結について(菊陽西北小学校第1期大規模改修工事(建築))

全員賛成で可決

同意第2号
副町長の選任につき同意を求めることについて

吉野邦宏氏
菊陽町大字津久礼
昭和31年8月22生まれ

全員賛成で同意

平成29年 第3回定例会

定例会は、平成28年度決算の審議が中心となった。会期は9月1日から同月13日までの13日間。上程された案件は、認定5件、議案13件であった。

認定第1号

平成28年度菊陽町一般会計歳入歳出決算の認定について

住宅改修金返還金の収入未済額が2,721万

4,891円であり、今回は返済1件6万円のみ。同和活動助成金381万円の支出。人権教育・啓発課の中での災害復旧費。子ども医療助成について、1回当たりの自己負担額500円で1,700万円の子育て世代の負担となっていること。立野ダム建設促進期成会負担金の10万円の支出。以上の点で反対。

《反対討論》小林

歳入において、町税の決算額は約65億2,000万円と40・4%を占め、高い水準を維持している。歳出は、限られた財源のもとに、効率的で効果的な事業が進められている。小学校の増築工事・放課後児童クラブの増築工事・小規模保育所の認可など、子育て支援が充実を図られている。同和問題については、運動団体と連携し、お互いに学ぶことは有意義。そのため助成金も必要である。以上のことから賛成。

《賛成討論》上田

菊陽町監査委員の審査意見書にあるとおり、一般会計・特別会計の実質収支に関する調書は全て黒字。財政規模の増大、財政の弾力性、財政力、歳入の構成、いずれをとっても、町の財政が全体として財政規律に従って注意深く運営されていることのアかし。次の10年、20年を見通した投資的経費についても今後勇断がなされることを願い、賛成する。

《賛成討論》甲斐

賛成多数で可決

認定第2号
平成28年度菊陽町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について

全員賛成で可決

認定第3号
平成28年度菊陽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

国保税の引き下げが必要であり、反対。

《反対討論》小林

医療費は伸びる一方、保険税収が伸び悩み、国保は厳しい財政状況にある。今後、県が財政運営責任を担うなど、制度の広域化への移行に向けた準備が進められている。事業運営の安定と医療費の助成に努めている。国保税収納率の向上や生活習慣病予防策を促進し、町民が健康に過ごすことができるように要望し、賛成する。

《賛成討論》西本

賛成多数で可決

認定第4号
平成28年度菊陽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

賛成多数で可決

認定第5号
平成28年度菊陽町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

賛成多数で可決

議案第26号
平成28年度菊陽町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

全員賛成で可決

議案第27号
菊陽町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

農業委員会は、多様な意見を反映するべきであり、自治的な仕組みが後退させられるということに賛成できない。

《反対討論》小林

賛成多数で可決

議案第28号
菊陽町非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数で可決

議案第29号
菊陽町農村地域工業等導入促進審議会条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決

馬場、入道集会所について、法律が失効して補助が出ない中での建設。県との協議がまとまっていない段階での補正予算。集会所として、6,300万円と3,300万円は多額。1億円を越すような建設の内容は、議会への説明も不十分である。

議案第32号
平成29年度菊陽町一般会計補正予算(第2号)について

全員賛成で可決

議案第31号
菊陽町宮住宅条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決

議案第30号
菊陽町企業立地の促進等による地域における農業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例の制定について

以上の理由で反対。

《反対討論》小林

予算案は、町民の生活と直結する内容を含んでいる。町民の利益に大きく反することや、不公平・不公正など、よほどの瑕疵がない限り賛成すべきものと認識している。

《賛成討論》甲斐

賛成多数で可決

◇議案第33号

平成29年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

全員賛成で可決

議案第34号

平成29年度菊陽町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

全員賛成で可決

議案第35号

平成29年度菊陽町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

全員賛成で可決

議案第36号

平成29年度菊陽町下水道事業会計補正予算(第1号)について

全員賛成で可決

議案第37号

熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部改正について

全員賛成で可決

議案第38号

町道路線の認定について

全員賛成で可決

報告第5号

有限会社さんふれあの経営状況について

平成29年第3回菊陽町議会定例会

付議事件

■賛否表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号等	結果	表決数		大久保	阪本俊	西本	那須	佐々木	中岡	吉本	吉山	北山	石原	岩下	大塚	川俣	上田	小林	甲斐		
		賛成	反対																		
認定第1号	可決	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
認定第3号	可決	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第4号	可決	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第5号	可決	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第27号	可決	14	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
議案第28号	可決	14	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
議案第32号	可決	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・不採択・承認・認定

※報告は採決がないため削除 ・上記議案以外は全員賛成

現地視察ふくめ慎重審議

常任委員会報告

文教厚生常任委員会

認定第1号

「平成28年度菊陽町一般会計歳入歳出決算の認定について」のうち文教厚生常任委員会に属する事項

認定第3号

平成28年度菊陽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第4号

平成28年度菊陽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第5号

平成28年度菊陽町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について等4件が付託された。

図書館

「熊本震災後の稼働率」は、他自治体の施設

も被災したことで、おおよそ10～15%程度利用者が増加した。また、ホームルの天井の修理費として466万円余を支出し、復旧した。

・開館後15年をすぎ、今後の課題は、利用者からの要望も入れた改修と寄贈された少女雑誌コレクションの活用の方法を検討していく。

学務課

「国際化時代に生きる人材を育成する」ことを目的に、昨年度は12人の中学生をオーストラリア、バックスマッシュに派遣した。

・ICT機器を活用した授業では、タブレットを中部・南両小学校に配布した。児童は主に理科の

観察や英語の研究発表等で、自己紹介や自分の夢の発表に使うなどし、機器を上手に使いこなしていた。

生涯学習課

民間の学習塾に通っていない生徒を対象に「地

域未来塾」を実施した。

取り上げた教科は、「英語・国語・数学」の3教科で、一日2教科を取り上げて実施した。

介護保険課

保険料の未納4.3%については、震災により保険料の減免などの措置を受けた場合、以後その方の特別徴収が出来なくなるケース等が原因である。

・介護の認定の基準に変わりはないが、介護の対象が「要介護3」以上になる議論が国では既に始まっている、今後議論の推移を見つめていく必要がある。

町民課

マイナンバーカードの交付率は全国で9.0%で、本町では7.7%である。各種証明書等をコンビニ店では交付していないが、実施する場合は近隣自治体の実績等を見て、検討する必要がある。

健康保険課

「次期健康増進計画策定」とは、町民の健康増進のガイドとするため、新たに食育のあり方等を盛り込んで、策定したものである。

・15歳までの子どもたちの医療費を、無料にする「子ども医療費助成」は、受診者が支払う月5000円の窓口負担分を加え、総額1億8,900万円余を助成した。

福祉課

「災害時要援護者支援計画」とは、災害時に自力避難が困難で、支援を要する人で、かつ登録者名簿に載せることを承諾した方々が対象にした計

画を指す。この名簿を地区の嘱託員、民生・児童委員などに渡し、災害発生時の避難などに役立てるものである。

子育て支援課

公立・私立保育園運営費の全体額は16億3,300万円余で、公立保育園の分は、4億5,000万円余を支出した。

・「保育園災害復旧工事設計委託料」48万6千円は、築40年を経過し老朽化した武蔵ヶ丘第一保育園の水道管の漏水工事の設計委託料である。

以上、各課からの説明と質疑を経て、付託された4議案のすべてを全員賛成で認定すべきものと決した。



菊陽西小学校のせまい調理室



増築した菊陽北小学校

総務常任委員会

認定第1号

平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、総務常任委員会に属する事項について

認定第2号

平成28年度菊陽町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について付託され、2日間にわたり慎重に審議。2議案とも可決認定した。

委員会での質疑応答の概要は以下のとおりである。

総合政策課 企画政策係

問 広報きくよう縮刷版を300セット作ったのは何のために作り、どのように扱っているのか。

答 昭和版に引き続き、町の記録とし、後世に残したい考えから作成し、160セットは商工会やJAなどの関係団体、行政区、関係市町村などに配布を済ませ、町民向けに1セット4,000円で販売している。

総合政策課 地域振興係

問 地方バス運行等特別対策補助金は産交バスへの赤字補助金になっているが、どのように算定しているか。

答 菊陽町内を運行する系統に対して運行経費の赤字を補助している。算定については、地方バス運行等特別対策補助金の交付要綱に定める算定方法に基づいている。

問 巡回バスの運行に關し、見直すべき時期ではないか。また、デマンド方式の検討を急ぐべきではないか。

答 巡回バスの運行に關しては、これまでの実績と昨年度に実施した公共交通利用実態調査の結果を分析している。効率的な運用を図るために、公共交通機関の運行実態、交通事業者の将来動向についての意向を総合的に検証するため協議を始めた。

総務課 男女共同参画推進係

問 総職員のうち女性は何人か。そのうち係長以上は何人か。

答 総職員228人中、女性職員は96人、そのうち係長以上は17人。

総務課 交通防災係

問 スクールパトロール隊員の効果の具体例は。今後の必要性は。

答 目的は、児童生徒を各種犯罪、事故から守り、併せて町民への防犯意識の向上である。児童生徒の安全確保につながっており、犯罪の抑止、危機の回避に効果を上げており今後も事業を継続する。

問 現在の消防団員数は。

答 定員は460人で、現在404人。本部機動隊は45人のうち16人が女性である。

税務課

問 差押えの実施状況は。H28年度は地震の影響もあり、捜索、物品の差押えは実施していない。

問 県外徴収はおこなっているのか。

答 おこなっており、今年度も3度の県外徴収について予算化している。

人権教育・啓発課

問 住宅資金貸付金の返還対象者は何人か。

答 対象者は14人。そのうち1人が返還している。

問 このような状況をいつまで続けるのか。

答 元金21億4,590万円、利子1億3,061万8,281円で総額22億7,651万8,281円である。

◎(仮称)光の森多目的広場は、総務常任委員会 で慎重に調査し審議をおこなっていく必要がある。

総合政策課 土地取得特別会計

問 (仮称)光の森多目的広場にかかった費用の



(仮称)光の森多目的広場の視察風景



平成30年4月1日開所予定の(仮称)光の森交番の工事状況視察

産業建設常任委員会

認定第1号

平成28年度菊陽町一般会計歳入歳出決算のうち産業建設常任委員会に属する事項の認定について

議案第26号

平成28年度菊陽町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定についての2件が付託され、2日間にわたり、慎重に審議した。また、現地視察として決算及びその他、委員会に關する場所を視察。

土木部

建設課

問 下草刈り、作業道路の管理、間伐などである。

農業委員会

問 農業振興地域整備計画促進費に關する委託料の内容は。

答 農林水産省令の8項目及び今後の農業に關するアンケート調査の実施。

商工振興課

問 セミコン通勤バスに關する説明とその効果は。

答 原水駅からセミコンテクノパーク及び原水工業団地を運行している。主に利用者は、これらの従業員であり、途中までJRを利用している。

経済部

農政課

問 土地改良区工事等助成金をどこに使用したのか。

答 工事の7割を負担している。堀川地区2件、沖野地区1件、白水地区8件の合計11件である。

問 町有林管理業務委託の内容はどのようなものか。

答 町有林管理業務委託の要望はあるが、近年は同じ金額である。

建設課

問 古閑原団地建替事業の進捗状況は。

答 2棟の解体が終了し、建設工事に着手する。昨年度1棟、本年度2棟を建設し終了予定である。

問 町道改良工事は、合計何本であるか。

答 1億2,278万円余で川久保南方線、光の森歩道改良工事など11本。

都市計画課

問 花いっぱい事業について苗を配布する対象は。

答 各行政区、学校や保育所などに配布している。年度当初に申請をしてもらい、年に2回実施。

問 定住促進補助金について現状及び効果は。

答 H25年から現在まで22世帯に交付を決定。対象となった小学生以下の子どもは41人である。

問 第二土地区画整理事業の進捗状況は。

答 事業施工地区の約9割が完了。事業面積93.1haのうち施工は、9haである。

下水道課

問 使用回収率が全国平均を下回っている理由は。

答 本来使用料で回収しなければならぬが、原価を回収できていない。これは、本町の下水道使用料の料金水準が低く設定しているためである。

問 今後の課題は、改築・更新などになるのか。

答 管路の経過年数が40年以上を経過しているものが増加し更新費用が必要になる。計画的に実施していく。(関連質問)

環境生活課

問 損壊家屋の解体撤去事業について公費解体の進捗状況は。

答 8月末まで自主解体91棟を含む申請棟数418棟のうち340棟が完了。進捗率は81.33%。

委員会での採決の結果は

認定第1号

平成28年度菊陽町一般会計歳入歳出決算のうち産業建設常任委員会に属する事項の認定について

全員賛成で認定

議案第26号

平成28年度菊陽町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

全員賛成で

可決及び認定

〈現地視察〉

- タキイ種苗
- 重光産業
- 農地法面復旧3カ所
- 鳥獣被害農地

○深迫ダム

○馬場楠堰、戸次地区白川護岸工事現場

○原水工業団地(共同墓地、その他)

○古閑原町営団地の建築現場(解体工事)

○総合交流ターミナルさんふれあ



光の森 歩道工事



タキイ種苗



鳥獣被害農地



西本 友春 議員

受診率向上のためにも、がん検診を受けた人に健康ポイントがつく仕組みが必要だが

答 町の検診を受診した人に対するポイント付与は検討していく

防災士

西本 連絡協議会を早く設立するべきだが、いつ頃を想定しているか。

総務課長 年度内には設立できるよう取り組みを進めたいと思う。

西本 連絡協議会への助成は必要だが、町はどの様に考えているのか。

総務課長 組織のできている自治体を参考に地域防災力の向上が図れるよう支援の方法を検討していく。



日本防災士機構のパンフレットより

空き家対策

西本 空き家対策協議会

の設置はいつまでおこなうのか。

総合政策課長 本年度中に設置し、空き家対策計画を策定すると共に、空き家の管理等に関する条例を検討していく。

西本 不動産会社が国土交通省や自治体と連携して運営する全国版空き家・空き地バンクサイトへの登録はいつまでにおこなうのか。

総合政策課長 制度の内容が提供された場合は、本町の状況に合致するかどうかしっかりと見きわめながら、その活用を検討していく。

情報発信の検討は

西本 SNS等を利用した情報発信は今の時代には必要と考えるが、導入に向けた検討はどこまでおこなっているのか。

総合政策課長 町のホームページのリニューアル

の中であわせて多様な情報発信のツールの一つとして、情報メールサービスとともにその活用を検討していくことになっている。

西本 町の行政情報発信としてマチイロというアプリで紹介するツールで行政情報の発信をおこなうべきと提案するが町の考えは。

総合政策課長 行政情報を発信するツールとして活用できるかを含めて検証していきたいと考えている。

西本 受診率向上のためにも、がん検診を受けられた人に健康ポイントがつく仕組みづくりが必要かと思うが、町はどのように考えているのか。

健康・保険課長 町の検診を受診された人に対するポイント付与についても検討していく。

ピロリ菌検査への助成は

西本 受診率向上のためにも、がん検診を受けられた人に健康ポイントがつく仕組みづくりが必要かと思うが、町はどのように考えているのか。

健康・保険課長 町の検診を受診された人に対するポイント付与についても検討していく。

西本 受診率向上のためにも、がん検診を受けられた人に健康ポイントがつく仕組みづくりが必要かと思うが、町はどのように考えているのか。

健康・保険課長 町の検診を受診された人に対するポイント付与についても検討していく。



大久保 輝 議員

(仮称) 光の森多目的広場の利用計画の検討状況は

答 防災広場として整備をおこなう

(仮称) 光の森多目的広場の利用計画の検討状況は

大久保 今定例会での町長の行政報告では、防災広場の整備と表明された。どのような計画か。

総合政策課長 災害時の飲用水確保のための施設や食料等の備蓄倉庫、車中泊に備えたスペースの確保、国や県、自衛隊などからの支援拠点となる防災拠点センターなどをあわせ持つ防災広場としての整備をおこなう。

大久保 昨年9月には計画が定まっていなかったことであつた。しかし既に国交省や県と協議中ということがあるが、いつから計画しているのか。

総合政策課長 熊本地震の発災以降、復旧・復興計画を皆さまのご意見を伺いながら策定した。

大久保 計画は確定しているのか、町長にたずねる。

町長 町としてはそのように進めていきたい。

大久保 方向性を決定する前の協議や説明が必要であつたのではないか。どのように住民意見の聞き取りをおこなつたのか。

総合政策課長 発災以降、復旧・復興計画策定の際や、校区座談会の中で意見をうかがつてきた。復興まちづくり計画策定の際のアンケートでも約8割の方から、防災広場の必要性について重要であると回答を得ている。今後は、計画実現のためにご意見をうかがいながら住民との合意形成を図っていく。

大久保 そのアンケートは復興計画についてであり、多目的広場の用途ではない。用途としてはどのような意見収集をしたのか。

総合政策課長 西部地域の防災広場が必要である

と考え、整備するにあつては多目的広場が適当であると考えた。

ふるさと納税ポータルサイトの追加導入は

大久保 ふるさと納税に対する返礼品の10品ほどのように選考されたのか。

総合政策課長 町内で行われるものを、つくられるものを基本に選んでいる。

大久保 現在導入している以外の、ふるさと納税ポータルサイトも導入できないか。

総合政策課長 利用料、手数料が安価であるということも選考の基準にしたうえで、利用者の利便性を比較し、検証しながら検討していく。

その他、オールドニュータウン再開発事業について質問をおこなつた。



阪本 俊浩 議員

馬場地区農地の将来像

阪本 原水駅周辺の整備を期待する声も多い。将来、宅地化の可能性はあるのか。

都市計画課長 開発の条件として、その立場の優位性は非常に高い。今後、農地の基盤整備の動向を見ながら、実現の可能性に必要な調査と検討をしていく。

阪本 農道も狭く作業効率も悪い。基盤整備を望む声も多い。事業を推し進めていく計画はあるのか。

農政課長 現在、政省令の整備が進められている。内容が明らかになり次第、受益者の方々に事業制度の説明をおこなう。

阪本 将来の方向性をなるべく早く明確にしたい。くよう、お願いしたい。

白水台地の有害鳥獣対策は

答 電気柵の設置を進め直ちにに対応する

白水台地の有害鳥獣対策

阪本 白水台地の農家が頭を痛めている問題がある。農作物を食い荒らしているシカ、イノシシの被害状況はどうなっているのか。

農政課長 被害総数、面積が162アール。被害総額890万円である。この件について、菊陽南小学校の区長会の陳情を受け捕獲に着手した。

阪本 関係農業者との話し合いや今後の対策はどう考えているのか。

農政課長 情報交換会で被害農業者の方々から貴重な意見をいただいた。非常に効果のある電気柵の設置に対する補助の要望があった。補正予算50万円を承認いただき直ちに対応することとした。

阪本 この問題について豊富な経験や知識のある



猟友会の方々の話を聞きながら勉強し、研究し、有害鳥獣対策協議会を早急に立ち上げるべきではないか。

農政課長 鳥獣被害防止対策は、地域全体の取り組みが必要で、対策協議会の設置は必須だと考えている。

阪本 1年後、5年後、10年後、この問題がどうなったのか、検証していかねければ質問の意味もなくなる。まずは1年後どのように変化したのか報告いただきたい。



川俣 鐵也 議員

町道杉並木公園線を東の柳南橋まで延伸する構想はないか

答 菊陽空港線延伸計画と整合性を図っていく

川俣 町道杉並木公園線は、図書館で途切れている。西部方面からの交通便は非常に良くなったが、古閑原、入道水、柳水等東部方面から西部に行くには非常に不便である。沿線の開発と併せ早急に実現を図る必要があると思うが。

町長 菊陽空港線の原水駅西側の踏切りの立体化構想が決定したので、全体の道路計画の整合性を図って実施したい。

川俣 原水駅周辺に近隣住民の利便性を図るため商業施設等を作る考えはないか。

町長 基幹産業である農地を守りながら、総合的にそういう構想に着手する時期に来ていると思う。

新しい工業団地を

川俣 原水工業団地もほぼ完売に近い。将来の財政を考えるなら新しい工業団地の造成に着手する時期ではないか。

町長 ソニーや富士フィルムといった世界をリードする大企業の立地で、製品出荷額がH13年198億円が、H26年には2,140億円と飛躍的に伸びた。他にも、ナカヤマ精密(株)、(株)名古屋精密金型等多数の有力企業が立地している。本町に進出したいという企業の要望に応えるためにも新たな工業団地の必要性がある。町の企業誘致推進室を中心として新工業団地の検討に入る。



町道杉並木公園線

川俣 町の第5期総合計画については、小学校単位できめ細かに現状の問題点と将来の方向性を調査、聞き取りで計画ができていくのか。

町長 こししばらくの間は復旧復興事業に多額の予算を必要とするので、後期計画に取り組む事業も優先順位を必要に応じて見直し、職員一丸となつてがんばる。

第5期総合計画の進捗状況は

川俣 20億円以上の投資をして取得した多目的グラウンドを町は防災拠点と位置づけているが、貴重な町の財産をもっと有効活用ができないか。例えば、民間の頭脳と資本を巻き込めないか。



甲斐 榮治 議員

5園一斉の民営化推進には

無理があるのでは

答 一部署だけではなく全体で取り組む

協働の精神の大切さ

甲斐 もみじ園の民営化から得た教訓はなにか。

町長 関係者への説明、要望や不安の傾聴、意見交換を丁寧に戻しおこなうこと、よい保育所と一緒に作るとういう精神の大切さを学んだ。

甲斐 臨時職員106人の処遇をどうするかは大問題。また各園には固有の問題がある。それらを解決するための人的及び時間的余裕はあるか。

副町長 子育て支援課だけではなく、役場全体で対処する。移管先法人や保護者のみなさんとも相談しつつ丁寧に対応していきたい。

これからの諸問題

甲斐 引き受け法人の種類・所在範囲・募集にあたっての条件設定をどう考えているか。

副町長 今詰めている段階である。決定すれば、議会の文教厚生常任委員会に報告する。

甲斐 それはいつか。

副町長 できるだけ早く。**甲斐** 引き受け法人の選考基準の基本となる考え方は。またそれができあがった時間開示するか。

副町長 安定的、かつよりよい保育を実施できる事業所を厳正公正に選定したい。開示の内容・範囲を含めて文教厚生常任委員会です説明する。

甲斐 選考委員名簿を開示するか。**副町長** 開示について議論し、確認を得た上で対応したい。

甲斐 選考結果は公表するか。



金婚夫婦表彰式で唱う園児

甲斐 民営化の決定は物心両面にわたる重い決定である。引き受け法人選考前に議決が要るのでは。**町長** 町立保育所設置条例変更の時点が適切である。



小林 久美子 議員

立野ダム「住民説明会」の

開催はできないか

答 工事をいったん中止したうえで、住民説明会は考えていない

小林 昨年の熊本地震とその後豪雨で、立野ダム建設予定地周辺は、大規模な土砂の崩落が起きている。立野ダム工事はいったん中止して、住民説明会を開催してもらえないか。

建設課長 斜面崩壊については、国土交通省の対策をはじめ、林野庁等による対策が進められており、斜面の安定化が図られていくものと考えている。立野ダムについては、ダムの検証を行い、コスト、実現性、地域社会への影響など総合的に評価し、白川水系の治水対策として、立野ダムを含めた対策が最も有利であるという結論が得られている。「立野ダム工事はいっ

たん中止し、住民説明会を開催」していただくよう国交省に要望する考えはない。

ダムは効果がある

町長 立野ダムについては、大雨の場合、急激に流れてくるのをいったん止めるという意味で非常に効果があると考えている。

穴がつまりのではと心配

小林 斜面崩壊している所への対策はとられているが、それ以外のところの山崩れなどの懸念もある。断層も建設予定地の500m近くにある。また、5年前の九州北部



ダム建設予定地



吉本 孝寿 議員

総合交流ターミナルのさらなる活用について、課題及び問題点は

吉本 農産物直売所の協議会は、現在、出荷協議会の会員数が87名、平均年齢63歳、最高年齢は86歳の方で構成する協議会である。

会員数は減少傾向にあり、平均年齢は上がっており、出荷の際には70歳以上が貼る高齢者マークが貼ってある車が最近非常に目立っている。このままでは、当初の目的であった菊陽産の新鮮な野菜の販売は厳しくなっていくと考える。このような状況をどのように考えるのか。

農政課長 運営主体である有限会社さんふれあ、並びにさん彩出荷協議会と連携、登録農業者の増加、ひいては都市と農村の交流を促進していく。

光の森駅から阿蘇くまもと空港への鉄道延伸をどのように考えているのか

答 計画の実現に向けた機運が高まった際は、積極的に協力していきたい

吉本 攻める気持ちで菊陽産の農産物をPRすべきではないのか。銀座熊本館出品、ホテルでの菊陽町農産物フェアの要望に、町としてはどのよう

に対応していくのか。**農政課長** 町単体のフェアの開催は慎重にならざるを得ない。ただ、自治体間の友好や交流といった側面を持つ本町とゆかりのある自治体等での開催については模索している。

事業効果を予測しながら慎重に検討していく。**熊本空港の運営権のみの民間委託(コンセッション)導入についての考えは**

吉本 国内線と国際線が一体となったターミナルビルの特長や、委託された民間が持つネットワークなどにより、海外からの観光客の増加も見込まれる。インバウンド

対策はどのようなものが考えられるか。

商工振興課長 町を訪れる外国人の受入れ態勢の充実や利便性の向上を図り、町内のインバウンド消費を促進することを基本的方向としている。

鼻ぐり井手を外国人に紹介するパンフレットを英語版、中国版、韓国版で新たに作成した。

吉本 県内で購入をした農産物、検疫代行を行う到着の空港のカウンターや、自宅で受け渡すというシステムを使ったインバウンド事業は可能か。**商工振興課長** 検疫の代行サービス等については、今後のインバウンド対策として参考になりたい。

議会モニター意見交換会が開催されました

平成29年10月10日（火） 於 三里木町民センター

2年目に入った議会モニター制度。本年度は、昨年から引き続きの方と新規の方、合計10名にモニター登録をしていただきました。11日の意見交換会には、6人のモニターの参加があり、議員との意見交換が活発におこなわれました。

意見交換の内容は

- 1、議会傍聴
- 2、議会だより
- 3、議会ホームページ
- 4、政務活動費の使途と活用
- 5、議会活性化の取り組み等でした。



多様な意見が出されました。議会として整理し、とりまとめる必要があるもので、詳しい内容は次回以降に掲載する予定です。

先進地から学ぶ

常任委員会研修報告

H29年7月5日、6日
2日間、産業建設常任委員
会研修をおこなった。

1日目を大分県豊後高
田市、2日目は、玖珠郡
九重町を研修先として事
前調査。研修目的、質問
内容を明確にしてから現
地を訪れる計画で実施した。

豊後高田市

〈目的〉商店街、町おこ
し、定住・移住促進事業
に関する調査研究のため。

昭和のまちづくり

講師の商工観光課課長
河野真一氏、商工観光課
観光推進室室長、水田健
二氏が細かく丁寧にお答
及び説明をおこなった。

①行政の役割（行政との 関わり）について

答 まちづくり株式会社
を設立し、商店街と会議
所と市が一体となって取り
組みを進めたものである。

②集客率の状況について

答 H23年40万1千人、
熊本地震の影響を受け
たが34万5千人であった。

また、宿泊用ホテルがで
きたため、宿泊者もピー
クでは9万人とH17年と
比較して2倍に増加した。
③現状における課題につ
いて

答 マンネリ化を防ぐた
め商店街の空き地に昭和
の路地裏迷路を整備、絵
本美術館をデジタルアー
ト（チームラボ）に改修
した。

また、空き家店舗に新
規創業者のあっせんをお
こなった。



④ロケ地誘致のまちづく りについて（ナミヤ雑貨 店の奇蹟、坂道のアポ ロン等）

答 アイドルや有名芸能人
の出演で情報統制がとて
も厳しく撮影日程等もす
べて非公開であった。また、
著作権、肖像権等の関係
もあり観光PRには活用
しにくい状況であった。



昭和ロマン蔵

⑤豊後高田そば等の特産 品について

答 ネギが特産物として
あるが、特産品として日
本一の産地になった春そ
ばがある。高田そば道場
そば打ちなどのイベント
を開催し販売促進をおこ
なっている。また、品質
を守るため認定店制度を
創設している。

現地視察 昭和ロマン蔵

- 昭和の夢町三丁目館
- 駄菓子屋の夢博物館
- チームラボギャラリー
- 昭和の町
- 世界農業遺産 田染荘



田染荘



アートギャラリー

緊急事態発生

2日目、大分県玖珠郡
九重町研修は、大分県全

域に大雨特別警報発令、
避難所開設とのことから、
今後の災害対策、被害状
況などの情報収集をし、
緊急会議の結果、研修を
中止とした。

大分県、福岡県、熊本
県の防災情報メール、気
象庁の情報、菊陽町との
連絡を取りながら、また、
道路通行止めを確認し、
安全第一を念頭に土砂災
害に備え、通行できる道
路を選択した。福岡県に
入るときには、筑後川の
状況を把握しつつ、菊陽
町の天候を確認する。S
NSを使用し、関係者か
ら写真を送信してもらい
ながら情報を収集。

約8時間半をかけてよ
うやく菊陽町に帰りつい
た。台風一過でもあり、
委員にも傘、雨具の準備
を周知していなかった。
2年に1回の委員会研
修と特別警報発令という
あまり例のない事態に遭
遇したことを今後、教訓
としていく必要を感じた。

「参加ください 町民と議会の 語る会」

菊陽町議会では開かれ
た議会をめざして町民の
皆さまとの意見交換をお
こないます。

▼日時 11月14日（火）

午後7時～午後8時30
分予定

▼場所 菊陽町光の森町
民センター「キャロッ
ピア」

▼内容 議会報告
意見交換

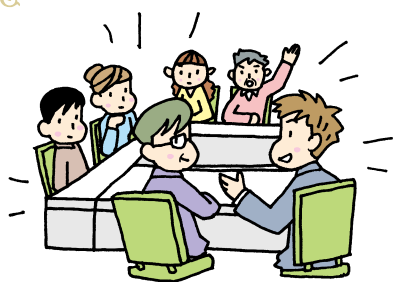
その他

▼対象者 菊陽町民

▼問い合わせ

議会事務局

☎(232)4919



広報広聴とICT

議会運営委員会研修報告

議会運営委員会は、8月8日から9日にかけて長崎県長与町議会及び諫早市議会の研修をおこなった。広報広聴については、長与町で研修をおこなったので、その内容について報告する。

各委員の報告の要旨

北山委員 住民懇談会（議会報告会とは別）住民からの要望がある場合に開催される懇談会については、長与町議会住民懇談会実施要領を制定していた。この議会の広聴委員会の委員は強い権限をベースに、高いモチベーションをもって職務にあたっていることが感じられた。議会報告会の議事録を読んだが、事細かに載せられていて、住民の閲覧にも十分に耐える内容になっている。

本町もホームページをもつなど討議していく必要がある。

甲斐委員

長与町の住民懇談会実施要領の規定を知りえたことが本研修の最大の成果であった。菊陽町での広報広聴の展開については、当座、広聴部分は議会運営委員会のメンバーを中心として別途組織する必要がある。

広聴部分の運用については、長与町の住民懇談会実施要領を踏まえた規定を早急に整備した方がよい。

吉本委員

議会報告会の開催内容については、町民から課題を出してもらい、その点については、ワークショップをおこなう。グループごとに、テーマが異なるので、進行の難しさを痛感した。

菊陽町議会の議会報告会や意見交換会などを進めるにあたっては、議員各々が責任を持ち、開催後の検証も必要ではないかと考える。

渡辺議長

長与町議会では、広聴分野としては議会報告会、意見交換会、住民懇談会をメインとする活動である。菊陽町議会は、加えて区長会との意見交換会、議会モニターなど事業が多いので、時期をみながら広報広聴常任委員会をめざすべきではないかと考える。

中岡委員

報告会、懇談会等の開催については、同様の課題があった。その他、議会だよりについては、オールカラーでページ数も決まらずに各号ごとに作成した議員が違う、改善点が一目瞭然であった。研修の成果だと思ふ。

研修を受けて今後の取り組み

① 現在の広報委員会に広聴部分を付け加えるのは負担が大きいのので、当面チームを作り広聴の企画・運営などを実施する。
② 住民懇談会については、長与町を参考にし、規定などを整備する。



長与町議会での研修

加機会の拡大を図る。「紙の削減」による経費削減は副次的と捉えている。

◎事業の効果へ議員活動へすべての資料を手元に置く形になり、条例や法律、過去の会議録などの確認が可能など。
〈議会事務局〉連絡の電話や郵便代などが不要で、労力の短縮や経費削減が実現など。
〈市民〉ほぼすべての市の議会の情報が閲覧できるなど。

ICT（情報通信技術）パソコンやスマートフォン等を使用した情報のやりとり技術）を活用した議会の取り組みに、タブレットを採用した諫早市を視察した。

◎市が導入した目的は、〈議員向け〉資料や関係書類を常時手元に置き、議員活動の向上が図られ、政策立案能力を高める。

〈議会事務局向け〉資料の準備や配布などの雑多な事務の効率化・省力化が可能。

〈市民向け〉議会に関する情報を市民に提供し、議会への関心の向上と参

通することができなければ、その責務に答えることは困難である。本町の職員もパソコンで仕事をしており、すべての資料はデジタルで存在している。わざわざ印刷・配布して持ち歩くことは、諫早市で指摘しているように人的資源の無駄使いである。しかも会計などが補正された場合、統一した会計書の確認はデジタルが効率的だと考える。

各課から出される説明資料などは、差し替えが多くあり、更新されたデータを最終説明資料として残す方が管理しやすい。また過去の議案や説明資料などの最終版を探し出す際、検索で情報を取り出す方が簡単であり、それにはICTが現状では適当と考えられる。

以上のことから、議会内に、ICTプロジェクトチーム（北山（座長）、西本（副座長）、大塚、川俣、吉山の5名）を編成し、本町議会にとって最適なシステムのあり方を検討していくことが決定した。

◎菊陽町議会での今後の取り組み
ICT機器を導入することは時代の流れから必須であり、地方議会といえども、過去の議案や関連書類など、自由に目を

向ける必要がある。

マイタウン

地域づくりはまちづくり

津留区宮座 10月13日(金)

今回、平成29年度地区伝統行事の宮座「座元」としてわが家が迎えることになりました。これも日頃から、お世話になっている区民の皆さまのお陰と家族で感謝しております。

また、この伝統行事の由来にはいろいろの伝説があります。しかし、その奥底には、区民が皆で助け合い支え合うところに、この行事の本来の意味が含まれています。これからも次の世代まで区の財産として大切に継承したいものです。皆さんありがとうございました。

津留区民 阪本政則



昔から、毎年10月13日は宮座がおこなわれ、各家を順番に回っていましたがこの地区も高齢化が進み、自宅での接待が大変となり、3年前から会場は公民館でおこなうようになりました。

新米で収穫を祝い、お酒を酌み交わし話を時を忘れて1日を過ごす、これが区民のつながりだと感じています。

これからも、座元に負担にならないように、続けていきたいと思っています。

区長 阪本良一

電子ギターを作ろう!

菊陽町青少年健全育成町民会議

10月7日(土)、西部町民センターで熊本高専の先生と生徒の皆さんが菊陽町の子どもたちのために来てくださいました。今回は、武蔵ヶ丘小5、6年生16人が、電子ギター作りにチャレンジしました。

音の出る仕組みを教えてもらい、子どもたちも興味津々。はんだ付けや細かい作業もあるギター作りでは、集中力を発揮していました。

年齢が近い学生が講師であったことでその後の食の交流会も和やかにおこなわれました。また、北山正樹 文教厚生委員長も参加し、子どもたちへ熱心に指導をしていました。



上手に電子ギターができるかな

かげで支えた人たちの活動

〔鉄砲小路区でボランティア〕

10月21日(土)に本町において、車いすふれあいジョギング大会がおこなわれました。台風の影響で、朝からどんよりとした天気でしたが、予定通り決行されました。それをかげで支えるたくさんの人たちがいます。

今回は鉄砲小路区の皆さんの自主的な道路清掃活動を紹介します。

○参加者のコメント

(30代男性)

大会のためと言うより、地区の皆さんを知ると言う目的の方が強かったと思います。でも少しでも走り良かったのであればうれしいです。



(60代女性)

私にも車いすの孫がいますので、何かのお役にたてればと思い、普通以上にハッスルしました。きれいになった道路を見て大会のためだけではなく地区の美化作業になったと苦笑いしました。

【鉄砲小路区長】

区民の皆さんに快く参加していただきました。清掃された鉄砲小路区を安全に気持ち良く走っていただけたのなら活動したかいがあります。個人的にはこれからも続けていければと思います。



ありがとうございました

災害時緊急対応をされた皆様 特集⑤



布田 悟さん

今回は菊陽町商工会の布田悟さんにインタビューさせて頂きました。
内容はその概要を載せています。

Q 震災後、どのような活動をされましたか。

A 地震翌日には三里木町民センターで、商工会女性部と青年部、そして三里木商工繁栄会の有志で、避難された人たちにおにぎりや豚汁の炊き出しをしました。

Q 材料はどうされたのですか。

A 各々のお店にストックしてあった物を持ち寄りしました。その点では多くの食材が揃ったと思います。

Q メニューも豊富だったそうですね。

A 町内各避難所に温かい中華風の料理を日替りで500食程配達して喜ばれました。

Q 活動の中で苦労されたことはありますか。

A 町行政当局と商工会組織との間でうまく情報の共有ができず、いつまで、またどの範囲で炊き出しをするのか等で組織の中でも意見の違いが出ることもありました。また、特定の人達(会員)に負担を掛けてしまい、家業に影響したことも心配しました。

Q その他の活動でなにかありますか。

A 女性部と青年部は、県の女性部と一緒に益城町の方でも炊き出しをしました。また、子供用衣服のリサイクル品や、日用品・水・保存食等をエミナースへ届けました。

Q 最後に震災後の感想をお聞かせ下さい。

A 炊き出し等をボランティア活動として参加していただいた会員はわが家のことは後廻しにして頑張ってくれました。

今後は、この震災の体験を機に組織的な危機管理体制を行政と歩調を併せて整備していく必要があると思いました。



傍聴者の声



私は初めて議会傍聴というものを経験し、かなり活発な印象を受けました。

難しい言葉もありましたが説明が丁寧なので、その問題について理解を深めることができました。

身近な問題を皆さんが理解することによって、より良いまちづくりができるのだなと実感しました。

宮原志津香さん



私は菊陽町に住んでいるのですが、思っている以上に町に課題が多かったことを知りました。

特に渋滞問題に関してはそう簡単に解決できるものではないのだなあと改めて感じました。

今村遼太郎さん



議会傍聴について今までテレビの画面越しでしかみたことがなかった、議員の方々の討論や話し合いを間近で見学することができ、非常に衝撃的でした。

松尾友樹さん



(今回は議員インターンシップ参加の学生の声です。)

12月議会の開会日は、12月4日(月)の予定です。

くわしい日程については、議会事務局 096-232-4919 にお問い合わせ下さい。

表紙の紹介

菊陽西小学校運動会1年生のスタートの様子

編集後記

那須真理子

町民の皆さま、お元気ですか。最近の気象状況の異様に、どこで災害に会ってもおかしくないような現実遭遇しました。去る7月5〜6日は産業建設常任委員会で大分県の豊後高田市へ研修に出かけました。菊陽を出る時は、台風一過のとてもすばらしい天気でした。それが大分に近づくにつれて本降りになりました。

それでも一日目の研修は、とても有意義に終わりました。しかしその後、朝倉や日田では大災害になっていたのです。そのような事情もあって次の日の研修は断念し、もっとも安全な帰路を情報収集しながら、午前8時に宿を出ました。大分自動車道は勿論通行止め、九州自動車道も一部区間通行止め、菊陽に到着したのは午後4時30分でした。つまり、所要時間が8時間30分かかった訳です。無事帰り着いてホッと安堵しました。「行きは良い良い、帰りは怖い」でした。

みんなの議会 傍聴は、お気軽に

議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますが、ご理解とご協力をお願い致します。

発行責任者

議長 渡辺 裕之

編集者

委員長 甲斐 榮治
副委員長 中岡 敏博
委員 佐々木理美子
委員 那須真理子
委員 阪本 俊浩
委員 大久保 輝

この議会だよりは再生紙を使っています。